

変わる東北の生態系

— 「今」と「これから」 —



数十年に一度の洪水から、千年に一度の大津波まで、生態系は様々な出来事に晒されています。生態系はある程度、このような出来事に対応する力を備えています。これまで経験したことのない出来事が続けば、バランスを崩してしまう可能性があります。生態系の変化をいち早く捉えるためには、モニタリング（継続観察）が重要です。

本講演会では、東北の生態系で近年起こった変化や、将来起こりうる変化に向き合ってきた研究者が、活動を紹介します。

生態系の変化をどのように捉え、向き合えば良いのか、

参加者の皆さんと一緒に考える機会になればと思います。



Takao Suzuki



Takuzo Abe



Sho Chiba



Hiroto Enari



Akifumi Makita

● 話題提供

- 鈴木 孝男 (みちのくベントス研究所)
- 阿部 拓三 (南三陸ネイチャーセンター)
- 千葉 翔 (山形県森林研究研修センター)
- 江成 広斗 (山形大学)
- 蒔田 明史 (秋田県立大学；世界遺産白神山地ブナ林モニタリング調査会)

2023
3.18 [土]
14:30–17:00

オンライン配信
(Zoom ウェビナー)

参加無料
当日先着順 [1000名]



[こちら](#)から3月14日までにご登録いただくと、電子メールでリマインダーとZoomウェビナーのアクセス方法をお送りします。